

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 6 部門第 3 区分
 【発行日】 平成 17 年 6 月 23 日 (2005.6.23)

【公開番号】 特開 2005-18800 (P2005-18800A)
 【公開日】 平成 17 年 1 月 20 日 (2005.1.20)
 【年通号数】 公開・登録公報 2005-003
 【出願番号】 特願 2004-230560 (P2004-230560)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 13/38

G 0 6 F 3/06

【F I】

G 0 6 F 13/38 3 5 0

G 0 6 F 3/06 3 0 1 A

【手続補正書】

【提出日】 平成 16 年 11 月 30 日 (2004.11.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 請求項 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【請求項 1】

伝送路を介して接続された複数の機器の各々との間でパケットを単位として通信を行うマルチイニシエータ制御装置であって、

送信すべきパケットを前記伝送路に送信する一方、前記伝送路からパケットを受信し、誤り検出を行って出力するリンクコア回路と、

前記リンクコア回路が受信したパケットを解析し、得られた受信アドレスを、イニシエータのノード番号に基づき、前記機器毎に異なるアドレス領域内に設定されたレジスタのアドレスと比較し一致したとき結果を出力するパケットフィルタと、

各々、前記複数の機器の各々に対応し、対応する機器との間のコマンド処理シーケンスを制御する複数のコマンド制御回路と、

前記パケットフィルタの出力に基づいて、前記受信アドレスによって示されるレジスタに、コマンド処理シーケンスに必要な前記受信したパケットの情報を格納させ、かつ、前記複数のコマンド制御回路のうちの 1 つにシーケンス実行許可を与えるマルチ制御回路と

、
 前記シーケンス実行許可を与えられたコマンド制御回路が出力する情報を有するパケットを前記送信すべきパケットとして生成し、前記リンクコア回路に出力して送信させる一方、前記リンクコア回路が受信して出力したパケットを前記パケットフィルタが出力する解析結果に従って出力するパケット処理回路と、

前記パケット処理回路が出力するパケットに含まれるコマンドを実行する C P U (central processing unit) とを備えるマルチイニシエータ制御装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 請求項 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【請求項 2】

請求項 1 に記載のマルチイニシエータ制御装置において、

前記複数のコマンド制御回路は、それぞれ、
対応する機器が出力し、当該対応する機器との間のコマンド処理シーケンスに必要な情報を、前記シーケンス実行許可が与えられると、対応するレジスタから読み出して出力するものであり、

前記パケット処理回路は、

前記シーケンス実行許可を与えられたコマンド制御回路が出力する情報を有するパケットを生成して出力し、これに応答して当該コマンド制御回路に対応する機器が出力したパケットを、受信して出力するものである
ことを特徴とするマルチインシエータ制御装置。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5】

請求項 1 に記載のマルチインシエータ制御装置において、

前記レジスタのアドレスは、

前記複数のコマンド制御回路のうちの基準とするものの同種のレジスタのアドレスに、2 の累乗である所定の値を単位とする加算がされたアドレスである
ことを特徴とするマルチインシエータ制御装置。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 0】

伝送路を介して接続された複数の機器の各々との間でパケットを単位として通信を行うマルチインシエータ制御方法であって、

コマンドフェッチ要求パケットを受信して、前記機器毎に異なるアドレス領域内に設定され、得られた受信アドレスによって示されるレジスタに、前記コマンドフェッチ要求パケットの情報を保持するステップと、

前記複数の機器から 1 つを所定の順で選択し、選択された機器からコマンドフェッチ要求を受けたことを記憶しているか否かを判定するステップと、

コマンドフェッチ要求を受けたことを記憶していると判定したときは、前記選択された機器からコマンドをフェッチして実行するステップとを備える
マルチインシエータ制御方法。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 4】

前記課題を解決するため、請求項 1 の発明が講じた手段は、伝送路を介して接続された複数の機器の各々との間でパケットを単位として通信を行うマルチインシエータ制御装置であって、送信すべきパケットを前記伝送路に送信する一方、前記伝送路からパケットを受信し、誤り検出を行って出力するリンクコア回路と、前記リンクコア回路が受信したパケットを解析し、得られた受信アドレスを、インシエータのノード番号に基づき、前記機器毎に異なるアドレス領域内に設定されたレジスタのアドレスと比較し一致したとき結果を出力するパケットフィルタと、各々、前記複数の機器の各々に対応し、対応する機器との間のコマンド処理シーケンスを制御する複数のコマンド制御回路と、前記パケットフィ

ルタの出力に基づいて、前記受信アドレスによって示されるレジスタに、コマンド処理シーケンスに必要な前記受信したパケットの情報を格納させ、かつ、前記複数のコマンド制御回路のうちの1つにシーケンス実行許可を与えるマルチ制御回路と、前記シーケンス実行許可を与えられたコマンド制御回路が出力する情報を有するパケットを前記送信すべきパケットとして生成し、前記リンクコア回路に出力して送信させる一方、前記リンクコア回路が受信して出力したパケットを前記パケットフィルタが出力する解析結果に従って出力するパケット処理回路と、前記パケット処理回路が出力するパケットに含まれるコマンドを実行するCPU (central processing unit) とを備えるものである。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

また、請求項2の発明では、請求項1に記載のマルチイニシエータ制御装置において、前記複数のコマンド制御回路は、それぞれ、対応する機器が出力し、当該対応する機器との間のコマンド処理シーケンスに必要な情報を、前記シーケンス実行許可が与えられると、対応するレジスタから読み出して出力するものであり、前記パケット処理回路は、前記シーケンス実行許可を与えられたコマンド制御回路が出力する情報を有するパケットを生成して出力し、これにตอบสนองして当該コマンド制御回路に対応する機器が出力したパケットを、受信して出力するものである。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0052

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0052】

また、請求項5の発明では、請求項1に記載のマルチイニシエータ制御装置において、前記レジスタのアドレスは、前記複数のコマンド制御回路のうちの基準とするものの同種のレジスタのアドレスに、2の累乗である所定の値を単位とする加算がされたアドレスである。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0062

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0062】

また、請求項10の発明は、伝送路を介して接続された複数の機器の各々との間でパケットを単位として通信を行うマルチイニシエータ制御方法であって、コマンドフェッチ要求パケットを受信して、前記機器毎に異なるアドレス領域内に設定され、得られた受信アドレスによって示されるレジスタに、前記コマンドフェッチ要求パケットの情報を保持するステップと、前記複数の機器から1つを所定の順で選択し、選択された機器からコマンドフェッチ要求を受けたことを記憶しているか否かを判定するステップと、コマンドフェッチ要求を受けたことを記憶していると判定したときは、前記選択された機器からコマンドをフェッチして実行するステップとを備えるものである。